

みずあかりの歌人

やすなが ふきこ

安永露子

Yasunaga Fukiko



大正9年(1920)～平成24年(2012)

熊本市生まれ

歌人、書家

熊本歌壇黎明期を築き『椎の木』を創刊した父・信一郎の歌誌編集を手伝い、短歌を作り始める。角川短歌賞など数々の賞を受賞。歌風は清新にしてモダン。卓抜したことば選びと技法で日常を詩的に描く。常に生の深淵を歌い、中央歌壇にその地位を確立する。『冬麗』で迢空賞を受賞。平成10年(1998)より10年間、歌会始選者を務める。歌集に『魚愁』『朱泥』など。『春炎』の号で書家としても活躍。